

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

美咲町長 青野 高陽

市町村名 (市町村コード)	美咲町 (336661)
地域名 (地域内農業集落名)	美咲町 (亀甲第一、亀甲第二、笠尾、越尾、新城、金堀、小原、西幸第一、西幸共栄、頼元、打穴下、打穴中、錦織西、錦織東、錦織北、重永、中央、陰地、下組、上組、宮代、定国、秋政、大谷、豊坂、河東、日向、細田、大井和、和田北、大井和東、両山寺、角石祖母、境、西井和、通谷、三休、吉貞、友清、松山、干田、北上、北下、休北、吉末、宮尾、中筋、広末、大谷、才の北、畝西、日名、福見、上口日名、上口中、小山上、小山下、真末、栃原、高良、中上、畑(旗)、大山南、大山北、寿老、滝の畝、畝、原、西、大戸下、大戸上、定宗、栗子、塚角、八神、高城、藤原、久木、小瀬、宮山、安井、百々、行信、書副、周佐、羽仁、藤田上、藤田中、藤田下、松尾、惣田、休石、柵原、下谷、連石、上間、重藤、塩気、吉留、王子、高下、飯岡上、飯岡下、吉ヶ原)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月28日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当町は、基幹的農業従事者の高齢化率が83.8%(令和2年)と高齢化が進んでおり、過去10年で26.2%の経営耕地面積が失われており、今後も遊休農地のさらなる増加や担い手不足が懸念される。

【地域の基礎的データ(農林業センサスより)】

基幹的農業従事者数(令和2年):860人、うち65歳以上721人

経営耕地面積の推移:平成22年 1,229 ha→令和2年 902 ha

(2) 地域における農業の将来の在り方

水稻を基本としつつ、麦・大豆や飼料作物への転換やブロックローテーションを行う。また、特産物であるぶどうは優良品種への改植を進めるとともに、ぶどう棚の導入による面積拡大を図る。

また、地区内外から担い手を確保できるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していくための農地の利用体制の構築を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	3,122 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	924 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	- ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

認定農業者、認定新規就農者が耕作する農地および中山間地域等直接支払の協定農用地を農業上の利用が行われる農用地等の区域とし、その他の農地は保全・管理を検討する。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地の出し手・受け手の意向を踏まえ、農地中間管理機構を活用して認定農業者や認定新規就農者への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地の出し手・受け手の意向を踏まえ、農地中間管理機構による農地貸借を活用する。
(3)基盤整備事業への取組方針
地域の話合いを前提に、必要に応じて基盤整備事業を実施し、担い手へ集積しやすい環境の整備を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
町や美作広域普及指導センター、農協と情報共有を密に行いつつ、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術や経営指導を行い、相談から定着まで切れ目のない取組を展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
農作業の効率化が期待できる場合や労働力の補填が必要になった場合等は、(一財)美咲町農業公社といった農業支援サービス事業者への農作業委託を行い、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①イノシシ、シカ、サル等の鳥獣被害対策として、国庫補助事業等を活用しワイヤーメッシュや電気柵を計画的に設置・管理する。また、鳥獣害対策の専門家による講習会を活用しながら、鳥獣害に強いまちづくりを目指す。
 ⑤果樹産地構造計画に即した果樹の優良品種への改・新植や省力化等に向けた園地整備を進め、担い手への集積を促す環境整備に努める。